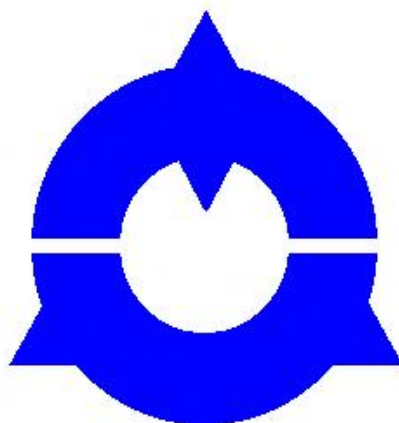


# 高鍋町教育ビジョン

～ 郷土を愛し 夢をもって 未来を創る人づくり～



令和8年4月 ～ 令和12年3月

高鍋町教育委員会

## <はじめに>



「豊かで美しい歴史と文教の城下町の再生」をまちづくりのビジョンに掲げる本町では、藩校「明倫堂」の精神を受け継ぎ、先人の生き方に学ぶ「人づくり」を教育の柱としております。

混迷する世界情勢や生成AIなどのテクノロジーが急激に進化する「変革の時代」の中であって、子どもたちが多様な価値観に触れ、自ら課題を解決できるように、本町ではデジタル教育の推進や国際感覚を養う機会の提供、さらには、道德教育やキャリア教育を通して、豊かな人間性と志を持った人材の育成を目指しております。

また、人生100年時代を迎え、地域の歴史や文化、豊かな自然を生かしながら、生涯にわたって学び続けられる社会教育の充実も重要です。

少子高齢化という大きな課題に直面する今こそ、時代に即した教育環境を整え、全ての子どもたちが夢と希望を抱き、持続可能な社会を支える主役として成長できるよう、また、年齢に関わらず全ての人たちが豊かな人生を送れるよう、町民の皆様と共に「人づくり」「まちづくり」に努めてまいります。

令和8年4月

高鍋町長 黒木 敏之

# 目 次

1	高鍋町教育ビジョンとは	1
2	計画期間	2
3	教育理念	
4	教育目標	
5	目標・施策・主な取組・所管課一覧	3
6	主な取組の具体的な内容	4～6

## 【目標1】 予測困難な時代を柔軟に生きる人材の育成

<施策1> 学校教育の充実

<施策2> 学校教育施設の整備・充実

## 【目標2】 郷土に学び、地域社会の担い手となる人材の育成

<施策3> 地域と連携した学校教育の推進

<施策4> 歴史を生かした「人づくり」の推進

<施策5> 歴史を生かした「まちづくり」の推進

## 【目標3】 生涯にわたる学びと豊かな人間性を育む教育の充実

<施策6> 社会教育施設の整備・充実

<施策7> 地域・スポーツ・文化活動の支援

# 1 高鍋町教育ビジョンとは

高鍋町教育ビジョンとは、本町の総合計画に基づいて策定した教育大綱とその目標を達成するための主要な教育施策を体系的に表したもので、本町の未来に向けた教育のあるべき姿を示した指針です。

## 第7次高鍋町総合計画 (町策定)

高鍋町教育委員会

**基本理念** 農畜産業が豊かになってこそ、商工業は潤い、まちは元気になる

**将来像** 豊かで美しい歴史と文教の城下町の再生

### 【基本目標】1 産業振興

- (1) 農畜産業支援 (2) 商工業支援
- (3) 企業誘致・雇用促進 (4) 観光促進

共通  
施策

### まちづくり基盤の強化

- (1) SDGs未来都市
- (2) 健全財政の維持
- (3) 行財政改革の推進

### 【基本目標】3 防災・住環境整備

- (1) 防災・環境整備・美しい高鍋づくり
- (2) 人口増加・移住・定住支援
- (3) 町民参画と役場の活性化の推進

### 【基本目標】2 健康・福祉・子育て・高齢者支援・教育

- (1) 健康・福祉・子育て・高齢者支援の充実
- (2) 学校教育の充実
- (3) 社会教育の推進

#### (2) 学校教育の充実

- ① 学校教育の充実・学校教育施設の整備
- ② 地域と連携した学校教育の推進
- ③ 歴史を生かした「人づくり」の推進

#### (3) 社会教育の推進

- ① 社会教育施設の整備充実
- ② 地域・スポーツ・文化活動支援
- ③ 歴史を生かした「まちづくり」の推進

## 高鍋町の教育ビジョン



### 教育大綱 (町策定)

<高鍋町の教育理念>

藩校「明倫堂」の教育の理念  
「礼儀正しく、高い志をもって、  
社会に貢献する人材の育成」

を  
もと  
に

**郷土を愛し、夢をもって、未来を創る「人づくり」**

< 3 つ の 目 標 >

#### 1 予測困難な時代を柔軟に 生きる人材の育成

< 施 策 >

- ① 学校教育の充実
- ② 学校教育施設の整備・充実

#### 2 郷土に学び、地域社会の 担い手となる人材の育成

< 施 策 >

- ③ 地域と連携した学校教育の推進
- ④ 歴史を生かした「人づくり」の推進
- ⑤ 歴史を生かした「まちづくり」の推進

#### 3 生涯にわたる学びと豊かな 人間性を育む教育の充実

< 施 策 >

- ⑥ 社会教育施設の整備・充実
- ⑦ 地域・スポーツ・文化活動の支援

< 主 な 取 組 >

##### 【教育総務課】

- ア 学習習慣の確立と学力向上
- イ 課題解決能力の強化
- ウ デジタル・グローバル人材の育成
- エ 誰一人取り残さない教育の実践
- オ 学校教育施設・設備の整備・充実

< 主 な 取 組 >

##### 【教育総務課】

- ア 地域素材を活用した教育の推進
  - イ 先人たちの生き方に学ぶ教育の推進
- ##### 【社会教育課】
- ウ 歴史・文化資源の継承と活用
  - エ 伝統文化に係る後継人材の育成

< 主 な 取 組 >

##### 【社会教育課】

- ア 社会教育施設の整備・充実
- イ 生涯学習の推進
- ウ スポーツ活動の支援
- エ 伝統文化の継承
- オ 自然環境保護活動の推進

### 教育委員会主要施策 (教育委員会策定)

小学校・中学校の特色ある  
取組による学校教育の実践



全世代に向けた社会教育と  
生涯学習の実践



## 2 計画期間

令和8年度から令和11年度までの4年間とします。

## 3 教育理念

藩校「明倫堂」の基本的な教育理念である「礼儀正しく、高い志をもって、社会に貢献する人材の育成」を現代の教育に継承しながら、高鍋ならではの教育やこれからの時代に対応した新たな教育を実践することによって、

『郷土を愛し、夢をもって、未来を創る「人づくり」』

を目指します。

## 4 教育目標

### 目標1 予測困難な時代を柔軟に生きる人材の育成

家庭での学習習慣を確立し、基礎学力の向上と定着を図ります。さらに、予測困難な時代を生きていくために必要な課題解決能力、デジタル技術や情報の活用能力、豊かな国際感覚を備えた子どもを育てます。

また、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実施や教育支援体制の強化を図り、子どもたちが毎日、安心安全に過ごすことのできる学校づくりや居場所づくりに取り組みながら、誰一人取り残さない教育を実践します。

さらに、児童生徒数減少への対応や校舎等の老朽化への早急な対策として、学校再編整備計画の策定や新たな時代の教育を実現するための学校教育施設の在り方などについて検討し、その整備に取り組みます。

### 目標2 郷土に学び、地域社会の担い手となる人材の育成

地域の資源や人材を効果的に活用して、自分たちが生まれ育った町のよさを再発見するとともに、藩校「明倫堂」の教えやそこで学んだ先人たちの生き方を学ぶことにより、郷土愛やその未来を創っていく気概を育み、次代を担い、郷土の発展に寄与する人材を育てます。

また、城下町“高鍋”の歴史や伝統文化を広く町内外に伝えるとともに、次の世代へしっかりと継承していく人材を育成します。

### 目標3 生涯にわたる学びと豊かな人間性を育む教育の充実

人生100年時代、生涯にわたって学び続けるために必要な学習環境の充実や社会教育施設の整備に努めます。

また、町民ニーズを的確に捉えながら、生涯学習やスポーツ活動、文化的活動や環境保全等に親しむ機会を設け、豊かな人間性を育む学びの場を創出します。

## 5 目標・施策・主な取組・所管課一覧

目 標	施 策		主 な 取 組	所管課
<b>目 標 1</b> 予測困難な時代 を柔軟に生きる 人材の育成	施策 1 学校教育の充実		ア 学習習慣の確立と学力向上	教育総務課
			イ 課題解決能力の強化	教育総務課
			ウ デジタル人材・グローバル人材の育成	教育総務課
			エ 誰一人取り残さない教育の実践	教育総務課
	施策 2 学校教育施設の整備・充実		オ 学校教育施設・設備の整備・充実	教育総務課
<b>目 標 2</b> 郷土に学び、地 域社会の担い手 となる人材の育 成	施策 3 地域と連携した 学校教育の推進		ア 地域素材を活用した教育の推進	教育総務課
	施策 4 歴史を生かした 「人づくり」の 推進		イ 先人たちの生き方に学ぶ教育の推進	教育総務課
	施策 5 歴史を生かした 「まちづくり」の 推進		ウ 歴史・文化資源の継承と活用	社会教育課
			エ 伝統文化に係る後継人材の育成	社会教育課
	施策 6 社会教育施設の 整備・充実		ア 社会教育施設の整備・充実	社会教育課
<b>目 標 3</b> 生涯にわたる学 びと豊かな人間 性を育む教育の 充実	施策 7 地域・スポーツ・ 文化活動の支援		イ 生涯学習の推進	社会教育課
			ウ スポーツ活動の支援	社会教育課
			エ 伝統文化の継承	社会教育課
			オ 自然環境保護活動の推進	社会教育課

### 高鍋が生んだ先人たち



三好退蔵 小澤治三郎 上杉鷹山 秋月種茂 石井十次 鈴木馬左也 柿原政一郎

## 6 主な取組の具体的な内容

### 目標1 予測困難な時代を柔軟に生きる人材の育成

#### 施策1

#### 学校教育の充実

##### 主な取組

##### ア 学習習慣の確立と学力向上

- 家庭学習の習慣化
- 基礎学力の確実な定着とその知識を活用し、生かす力の育成



##### イ 課題解決能力の強化

- 地域の課題解決や活性化を目指した探究学習の実施
- アスリートや地元企業等を活用した実践学習の実施

##### ウ デジタル人材・グローバル人材の育成

- 一人一台端末を活用した情報活用能力の育成
- A L Tを活用したグローバルな視点を身に付けさせる取組の実施
- 中学生海外短期留学派遣事業の実施と成果の還元

##### エ 誰一人取り残さない教育の実践

- I C Tを活用した個別最適な学びと他者と共に学ぶ協働的な学びの一体的な実施
- 学校生活支援員やS S W等を活用した教育支援の実施
- 教育支援センターの運用と支援体制の強化
- 児童生徒が安心安全に過ごせる学校（居場所）づくり
- 教職員研修の充実や実効性の高い学校訪問の実施による授業力の向上

#### 施策2

#### 学校教育施設の整備・充実

##### 主な取組

##### オ 学校教育施設・設備の整備・充実

- 少子化や施設老朽化に対応した学校再編整備計画の策定
- 新たな時代の教育を実践する学校教育施設の検討
- 子どもたちが安心安全に過ごすことのできる教育環境の整備・充実



## 目標2 郷土に学び、地域社会の担い手となる人材の育成

### 施策3

### 地域と連携した学校教育の推進

#### 主な取組

#### ア 地域素材を活用した教育の推進

- 地域の資源（自然、歴史・文化等）や人材等を活用した授業の実施
- 小中高が連携し、地域で展開する学習の実施



### 施策4

### 歴史を生かした「人づくり」の推進

#### 主な取組

#### イ 先人たちの生き方に学ぶ教育の推進

- アニメ動画を活用した高鍋の歴史教育の実施
- 先人たちの生き方や現役経営者の視点から学ぶキャリア教育の実施



### 施策5

### 歴史を生かした「まちづくり」の推進

#### 主な取組

#### ウ 歴史・文化資源の継承と活用

- 舞鶴公園、歴史資料館、美術館、図書館などを周遊する歴史文化ルートの整備
- 持田古墳群の維持管理体制の構築と観光資源としての活用
- 高鍋神楽や鳴野棒踊りの保存活動の支援

#### エ 伝統文化に係る後継人材の育成

- 史跡・文化財ボランティアガイドの養成



## 目標3 生涯にわたる学びと豊かな人間性を育む教育の充実

### 施策6

### 社会教育施設の整備・充実

#### 主な取組

#### ア 社会教育施設の整備・充実

- 中央公民館の機能向上に向けた整備計画の策定
- 合宿や大会等に必要なスポーツ施設の整備  
(令和9年度国民スポーツ大会に向けた施設整備)
- 旧鈴木馬左也別邸や黒水家住宅を教育や観光、交流の拠点とする整備計画の策定



### 施策7

### 地域・スポーツ・文化活動の支援

#### 主な取組

#### イ 生涯学習の推進

- 住民ニーズにマッチしたイベントの企画・開催
- ITセンターを活用したeスポーツ等講座の開催
- 美術館や資料館での若年層をターゲットにしたイベントの開催や情報の発信

#### ウ スポーツ活動の支援

- スポーツに参画する機会の提供・支援
- スポーツを支える人材の確保・育成
- 魅力あるスポーツイベントの開催

#### エ 伝統文化の継承

- 高鍋神楽や鳴野棒踊りなど地域の伝統行事の継承支援



国指定 高鍋神楽

#### オ 自然環境保護活動の推進

- アカウミガメが産卵する堀之内海岸や希少生物が生息する高鍋湿原の適正な保存と環境学習への活用
- SDGsを学ぶイベント（SDGs未来都市関連事業）の実施



第7代高鍋藩藩主 秋月種茂公の思い 「国づくりは人づくり」

### 明倫堂の教え

明倫堂の教えは、人倫を明らかにすることであり、この堂に学ぶ者、人の倫を求め、これを教み、これを勉め、怠るなれ、荒むことなれ、

一、学問の儀は、治世安民の要道にして、人倫の根本とすべし。

一、文武忠孝、礼儀廉恥、自己の行跡相慎み、謙虚と感謝を旨とすべし。

一、師弟の禮厚く、同門の交わり睦まじく、違ち、相互に正すべし。

一、朝望の儀、敬かにし、晨昏の令、謹むべし。

一、居處恭しく、步履を正し、視聽を端し、言語を謹み、容貌敬かなるべし。

一、行儀を正し、時間を厳守し、物静かに勉学に励むべし。

一、読書必ず専一にし、文字を写すは必ず楷書し、敬むべし。

一、初心の飛、勉学を励むに、必ず定式を立て置くべし。

一、几案必ず整齊し、堂室必ず清浄すべし。

一、衣服、道具、質素を常とし、公露に際し、衣冠を整えるべし。

一、文武の器業を終るに余功有り、遊芸に適性有り、油断なく修行いたすべし。

一、幼者を持つに慈を以てし、長者に事するに悌を以てすべし。

一、師範の面々、門人の教育練かにすることなく、その性質に従い、有用の才手厚く、養育すべし。

一、和禮仕付形の儀、この善思、幼少の内より教訓いたすべし。

「学問だけではなく、人としていかに生きるべきか！」



↑データのダウンロードは、こちらから